

令和5年度 児童朝会6 4講話

令和6年2月19日【つらいとき2】

おはようございます。

まず、先週の全市公開授業ですが、みなさんよくがんばっていましたね。すばらしかったです。東京大学の佐藤学先生も、素直な子どもたちですねと大いにほめていただきました。

話は変わりまして、4年生のお友だちの描いたイラストが月刊誌に載りました。この碓氷峠の列車を描いたものです。おめでとうございます。

それでは、先週から引き続いて、「つらいとき」のテーマでお話をします。先週のお題は、皆さんのが心や体がつらいときに、どのようにして気持ちを切り替えていますか？

ゲームをする、大声をだす、寝る、歌うなどいろいろな回答をいただきありがとうございました。

さて、今日はみんなの好きな教科アンケートの結果から話していきます。ある会社が小学生にとったアンケートの結果では、3位が体育と国語 2位が図工 そして7年連続で算数が1位となつたそうです。ちなみに算数は嫌いな教科でも1位となっているのですが。

では、各教科はどの順番で始まったと思いますか？実は江戸時代の寺子屋では読み書きそろばんということで、国語と算数から始まりました。明治になって道徳（修身）がスタートし、富国強兵政策で体育もはじめからありました。どうしてもう一つある教科が明治の初めからあるのですが、何で

しょう？少し周りの人と聞き合ってみてください。

実は音楽なのです。では、なぜ音楽はそんなに古くから学ばれていたのでしょうか？

6年生はもうすぐ卒業式ですが、小学校の最後に学習する教科は何かわかりますか？音楽です。校歌や国歌、卒業の歌など卒業式ではたくさん歌を歌います。なぜでしょう。それは、歌は人の心を動かす力をもっているからなのです。歌うことで、感動を大きくしたり、心を整えることができるのです。だから、卒業式など式典では歌をうたうのです。そしてこれが、音楽が早くから教科の仲間入りをした理由なのです。

人はつらいとき、気持ちを切り替えたいときに、いろいろな方法があります。授業に音楽が入るように、歌を歌うこともその1つで、何も道具もいらぬ手軽に気分を変えることができます。これからつらいときがあったときは、ぜひ試してみてください。

では今週のお題です。さんは、気持ちを切り替えたいとき、気分を上げたいときに、どんな歌を歌いますか？

今日も最後まで聞いていただきありがとうございました。